

【緑地の樹】

シラカシ（白樫）

ブナ科コナラ属の常緑高木

緑地の斜面に一番多いのがシラカシではないでしょうか。あまりに当たり前すぎて、今まで紹介されなかったのかもしれませんが。

右の写真は、桜広場から花広場に行く途中の山道で、シンボルツリーのように堂々と立っているシラカシです。でも、この木に気づいている人はいないのではないのでしょうか。四季による変化がほとんどなく、いつも青々としています。同じドングリ仲間のコナラやクヌギだと、冬は落葉して周りが明るくなり、春には芽吹きが美しいのですが、シラカシは・・・。林床が暗くなり、早春の花々が咲きにくいのですね。

だから、私たちの気持ちはどうしてもコナラ・クヌギに肩入れしたくなります。でも、シラカシはきっと「僕たちは冬でも立派に光合成して地球環境に貢献しているんだよ、もっと評価してよ。」とぼやいているかもしれませんね。 （小川）



シラカシのドングリで
ドングリ虫を作りました